

旧約ダイジェスト⑧復興時代

エズラ 3：8-13

2011,9,4 HKJCF

I概要

序) 捕囚時代の特徴①南ユダ敗北の意味②神殿なき礼拝生活③世俗国家での信仰の証

- 1、捕囚時代の信仰
- 2、帰還後の信仰
- 3、預言者の信仰

適用) 私たちが危機にあつた時、真に頼りとなるもの、信仰の最終的な根拠はなんでしょう？

II捕囚時代の信仰

- 1、イザヤ：歴史の中での残りの民と人類の救
- 2、エレミヤ：罪の悲しみと希望・新しい契約
- 3、エゼキエル：新しい神殿のビジョン
- 4、ダニエル：世俗国家でのクリスチャンの証
- 5、詩編：ダビデの信仰・詩人の信仰の深化
- 6、エステル記：ユダヤ人殲滅計画と逆転の救
⇒捕囚とユダヤ人の祝福：偶像礼拝/会堂・聖書の啓示（歴史、使命、国家）・信仰の深化

III帰還後の信仰

- 1、エズラ：祭司・神殿の建設
- 2、ネヘミヤ：役人・城壁の再建
- 3、ハガイ：神殿再建の励まし・信仰の確立
- 4、ゼカリヤ：神殿再建の励まし
- 5、残りの民の自覚とディアスポラ（離散の民）
⇒イエス様生誕と初代教会の宣教の準備

IV預言者の信仰（1）

- 1、イザヤ：召命・審判・回復・苦難のメシヤ
- 2、エレミヤ：召命・審判・受難・新しい契約
- 3、エゼキエル：審判・回復の預言・新しい神殿

V預言者の信仰（2）

- 1、ダニエル：政治家・バビロンでの証（ヨシヤ王の宗教改革の影響）・終末預言（黙示）
- 2、ハガイ：預言者・神殿再建への励まし・メシヤ預言
- 3、ゼカリヤ：祭司・回復預言と牧者であるメシヤ到来の黙示